

① 事業所の運営状況について

令和4年10月1日現在の貴事業所についてご記入ください。

問1 貴事業所の運営主体は、次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 国・地方公共団体の直営 | 2. 医療法人 |
| 3. 社会福祉法人 | 4. 営利法人（株式会社、有限会社など） |
| 5. NPO法人 | 6. その他の法人（財団法人など） |

問2 事業所の年間収支（令和4年1月から同9月末日までの状況で判断）は、次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 黒字である | 2. 昨年から減収見込みだが黒字である |
| 3. 概ね均衡である | 4. 昨年から減収見込みだが概ね均衡である |
| 5. 赤字である | |

【問2で「2. 昨年度から減収見込みだが黒字である」「4. 昨年度から減収見込みだが概ね均衡である」「5. 赤字である」に○を付けた事業所にお聞きします。】

問3 赤字や減収の要因については次のうちどれですか（当てはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 光熱費の高騰 | 2. 燃料費の高騰 |
| 3. 日用品などの物価の高騰 | |
| 4. 感染症対策に係る消耗品の購入や光熱費のかかり増し費用 | |
| 5. 障害介護給付費等の報酬の不足や利用者の人数が少ない | |
| 6. その他（ | ） |

問4 事業支出における人件費の割合は、次のうちどれですか。（1つに○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 30%未満 | 2. 30%以上40%未満 |
| 3. 40%以上50%未満 | 4. 50%以上60%未満 |
| 5. 60%以上70%未満 | 6. 70%以上 |

問5 令和4年10月1日現在の、雇用形態別の職員数をご記入ください。

正社員・正職員		人
パート（常勤）		人
パート（非常勤）		人
合計		人

問 11 次に掲げるサービスそれぞれについて、現在、貴事業所が提供している場合は、
 ①提供の有無に○を付けて、②実利用者数（令和4年4月～令和4年9月の6ヶ月間）と③②のうち厚木市援護者数を記入し、④新規利用者の受入が可能であったかどうか当てはまるものに○を付けてください。

サービスの種類	①提供の有無	②実利用者数 (6ヶ月間)		④新規利用者の受入 1・可能 2・状況によって可能 3・不可能
		③厚木市		
1 居宅介護 > 問13へ		人	人	1・2・3
2 重度訪問介護 > 問13へ		人	人	1・2・3
3 同行援護 > 問13へ		人	人	1・2・3
4 行動援護 > 問13へ		人	人	1・2・3
5 療養介護		人	人	1・2・3
6 生活介護 > 問14 問15へ		人	人	1・2・3
7 短期入所		人	人	1・2・3
8 施設入所支援		人	人	1・2・3
9 自立訓練（機能訓練）		人	人	1・2・3
10 自立訓練（生活訓練）		人	人	1・2・3
11 就労移行支援 > 問12へ		人	人	1・2・3
12 就労継続支援（A型） > 問12 問14 問15へ		人	人	1・2・3
13 就労継続支援（B型） > 問12 問14 問15へ		人	人	1・2・3
14 就労定着支援		人	人	1・2・3
15 共同生活援助		人	人	1・2・3
16 地域活動支援センター > 問14 問15へ		人	人	1・2・3
17 移動支援 > 問13 へ		人	人	1・2・3
18 日中一時支援 > 問14 問15へ		人	人	1・2・3
19 児童発達支援		人	人	1・2・3
20 放課後等デイサービス		人	人	1・2・3
21 保育所等訪問支援		人	人	1・2・3
22 福祉型障害児入所施設		人	人	1・2・3
23 医療型障害児入所施設		人	人	1・2・3

※設問の移行の指示がない場合は問 16 へお進みください

② 事業展開における現状と課題について

問 16 利用者の意見・苦情をどのような方法で受け付けていますか。
(当てはまるもの全てに○)

1. 書面で受け付けている（郵送で受け付ける、ご意見箱を設置するなど）
2. 電話で受け付けている
3. メールで受け付けている
4. 苦情対応責任者・苦情受付担当者を配置して受け付けている
5. 第三者委員を配置して受け付けている
6. その他（)
7. 特に利用者の意見・苦情を受け付けるしくみは設けていない

問 17 貴事業所が提供するサービスの質の向上のため、どのようなことに取り組んでいますか。（当てはまるもの全てに○）

1. 地域における障害者支援ネットワークの構築に努める
2. 専門的なコーディネーターなどの派遣を依頼し、助言をもらい実践している
3. 定期的に研修会の開催や外部の研修に参加させるなど常に職員の向上を図っている
4. 法律などで定められている会議のほか、利用者へより良い支援を提供できるよう概ね全職員が参加する話し合いの場を定期的に設けている
5. 利用者の意見を汲取る仕組みを作り、実際にその意見を反映させている
6. 事業所独自の方法で、定期的に自らのサービスの質の評価を行っている
7. 利用者からサービスの質に関する評価を受けている
8. 第三者機関によるサービスの質に関する評価を受けている
9. その他（)
10. 特に取り組んでいることはない

問 18 貴事業所が事業を展開する上での問題点・課題はありますか。
(当てはまるもの全てに○)

1. 利用者を安定して確保することが難しい
2. 職員の確保が難しい
3. 職員の雇用条件・福利厚生が不十分
4. 人件費を支出することが難しい
5. 事務など間接経費が高い
6. 経理・国保連請求事務など事務作業が多い
7. 報酬が低く、採算が合わない
8. 運営・運転資金の確保が困難
9. 光熱費、燃料費や物価の高騰などの必要経費の負担が大きい
10. 事業所（営業拠点）の確保・維持が困難
11. サービス提供地域内に同種の事業者が多すぎて競争が激しい
12. その他（)
13. 特にない

問 19 貴事業所と他の事業者や関係機関などとの連絡調整や連携はとれていますか。
 (1つの項目につき、1つに○)

他の事業所や関係機関名	連携がとれている	連携がとれていない	どちらともいえない(わからない)
1. 居宅系サービス事業所	1	2	3
2. 通所施設(就労移行支援、地域活動支援センターなど)	1	2	3
3. 入所施設(障害者支援施設など)、短期入所施設	1	2	3
4. 障がい者基幹相談支援センター ゆいはあと	1	2	3
5. 障がい者相談支援センター(市内に8箇所あります)	1	2	3
6. 児童発達支援センター ひよこ園	1	2	3
7. 4、5、6以外の相談支援事業所	1	2	3
8. 市役所障がい福祉課	1	2	3
9. 8以外の行政機関(市介護福祉課やまめの木など)	1	2	3
10. 地域包括支援センター	1	2	3
11. ケアマネジャー	1	2	3
12. 介護保険のサービス事業所	1	2	3
13. 訪問看護ステーション	1	2	3
14. 利用者のかかりつけ医	1	2	3
15. 教育機関(保育園、幼稚園、小・中学校など)	1	2	3
16. 利用者の後見人・保佐人・補助人	1	2	3
17. その他()	1	2	3

問 23 地域生活支援拠点について、貴事業所で協力できることや、「厚木市」という地域で有効な機能があればご意見・ご提案いただければ幸いです。（自由記載）

④ その他

問 24 貴事業所において、障がいの理解の促進に関する活動などを行っていますか。（当てはまるもの全てに○）

また、1から4を選択された場合は、時期や活動内容などの具体的な内容を（ ）内に記載ください。

1. 障がいの理解の促進の一環として地域住民が参加できる催し物などを開催している
2. 小中学校や高等学校の生徒に対し「障がい」に触れる機会などを提供している
3. 学校や団体などの依頼で、講義やイベントに参加し、障がいの理解の普及活動をした
4. その他

具体的な内容をご記入ください

5. 特段実施していない

問25 貴事業所で、自治会が主催する防災訓練に参加したことはありますか。（1つに○）

1. 職員と利用者で毎年参加している
2. 職員だけで毎年参加している
3. 職員と利用者でたまに参加している
4. 職員だけでたまに参加している
5. 参加したことない

問26 令和3年度報酬改定において、①研修の実施、②虐待防止委員会の設置、③虐待の防止等のための責任者の設置が明記され、令和4年度から義務付けられました。貴事業所における進捗を教えてください。（1つに○）

1. 全て対応済み
2. 一部対応済み（対応済みについて、次の【 】内の内容を○してください）
【 ①研修 ・ ②委員会の設置 ・ ③責任者の設置 】
3. 現在整備を進めて準備中
4. 改定があったことを知らなかった

